

# ツールキャビネット



## ●ツールキャビネット

コード	商品番号	商品名	サイズ(H×W×D)	重量
0848022003025	100C	ツールキャビネット	692×570×240mm	12.4kg

※キャビネットの中に商品は含まれておりません。

## 内外面修理 (2ピース方式)

### 内外面修理 (2ピース方式)

傷穴角度が25度以上の場合

—ユニシールシステム・ラジアルパッチを使用した内外面修理—



1 バンクの原因である釘等を傷穴の方向を確認しながらゆっくりと抜きます。スリップサインが出ているタイヤや異常摩耗・引きずり痕・コード切れ等異常がある場合は修理できません。



2 TRT105メジャーツールで傷穴のサイズを測定し、修理材のサイズを選定します。タイヤ内部を点検し、セパレーションやサイド部にシワがある場合は修理できません。



3 704Aスプレー式バフナー液を掛け、933スクレーパーで傷穴周りの汚れやシリコンを取り除きます。これを2~3回繰り返します。



4 選定したユニシールシステムに応じたカーバイトカッターをS-1035エアードリルにセットし、タイヤ内側より右回転で、タイヤ外側より同じく右回転で3回以上繰り返し返してください。エアードリルは1200回転/分以下のものを使用してください。



5 760ケミカルセメントを915スパイラルツールにたっぷりつけて右回転にて傷穴にいれます。3~5回繰り返し返してください。セメントの乾燥を防ぐため、915スパイラルツールは挿入したままにしてください。



6 ユニシールシステムのブルーポリをはがし、760ケミカルセメントをグレークッションゴムに触れないように、黒いゴム部に塗布してください。



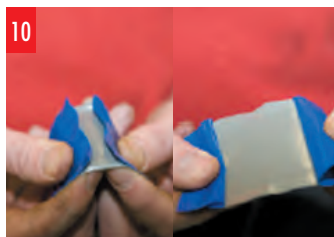
7 ユニシールシステムのリードワイヤをタイヤ内側傷穴より挿入し、タイヤ外側にリードワイヤが出ているのを確認し、プライヤー等でリードワイヤを引っ張り、黒いゴムを掴みゆっくり引っ張りだしてください。目安として、タイヤ内側に3mm程度残るように。



8 選定した、ラジアルパッチより15mm程度大きめにマーキングしS-1036低速エアバフナーを使用して、マーキングした内側をバフ致します。エアバフナーは5000回転/分以下のものをご使用ください。



9 S-893ワイヤブラシをS-1036低速エアバフナーにセットし右から左へ軽くバフし、パフリングダストを取り除きます。タイヤ内に残っているダストはS-999Kエアスビップで吸い込み掃除してください。760ケミカルセメントを薄くバフしたエア内に塗布いたします。乾燥時間は3~5分です。乾燥のため、ドライヤー等は使用せず、自然乾燥させてください。



10 選定した、ラジアルパッチの中央を折り曲げるようにしてブルーポリのミシン目を切り離し、パッチエッジ部にブルーポリが残るようにしてください。



11 パッチエッジ部に残ったブルーポリをもつようにして、グレークッションゴムの部分を指で押します。



12 S-936ステッチャーローラーをパッチ中央部から外側に向かって圧着し、パッチエッジ部のブルーポリを横方向に取り除き、再度中央から外側にローラーをかけ圧着し、透明フィルムを取り除きます。



13 738セキユリティーコートを手拭いエアとパッチエッジ部に掛かるように塗布いたします。乾くと黒くなりますが、黒くなるまで待つ必要がなく、ホイールとタイヤを組んでも問題ありません。エアチェックを行い、エアリーク等なければタイヤレット部より3mm程度残してカットしてください。

